



第32号(令和6年度版)

# 泉と緑





夏休み親子環境教室【宮ヶ瀬ダム】

やまとの環境をよくする会



# 目 次



はじめに	・・・・・・・・・・	1
令和6年度 活動状況	・・・・・・・・・・	2
第47回大和市民まつり	・・・・・・・・・・	6
みどり育成事業	・・・・・・・・・・	8
夏休み親子環境教室	・・・・・・・・・・	10
河川美化活動	・・・・・・・・・・	13
緑地保全事業	・・・・・・・・・・	15
やまと産業フェア2024	・・・・・・・・・・	18
環境問題（視察）研修会	・・・・・・・・・・	21
環境保全講習会	・・・・・・・・・・	25

## 【資料】

やまとの環境をよくする会会則	・・・・・・・・・・	29
令和6年度 役員・委員会名簿	・・34、35、36	
令和6年度 会員名簿・会員所在マップ	・・・・37、38	

## 【編集後記】

# はじめに



やまとの環境をよくする会

会長 牧 誠

「やまとの環境をよくする会」会長を務めさせていただいております、東京電力パワーグリッド株式会社相模原支社の牧でございます。

会を代表して、日頃より環境保全の取り組みにご理解・ご協力を賜っております会員事業所の皆様、地域の皆様、そして行政をはじめとする関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

本会は、快適で潤いのあるまちづくりと豊かな自然環境の保全を目的に、公害の未然防止や緑化推進などの活動を通じて、地域に根ざした環境保全活動を展開しております。

令和6年度は、能登半島地震や記録的猛暑など、気候変動と自然災害への関心が一層高まる中でのスタートとなりました。こうした社会的背景のもと、私たち一人ひとりが環境への意識を高め、持続可能な社会づくりに向けて行動を積み重ねていく重要性が、ますます強く認識されております。

今年度もこれまでと同様に、保育園でのみどりのカーテンの設置、河川や緑地の美化活動、親子での自然観察教室など、多くの方々にご参加いただき、環境への関心を深める機会をつくることができました。

また、やまと産業フェアへの出展や講習会・視察研修も通じて、「環境を守ることが、暮らしや地域の安心にもつながる」ということを、皆様と一緒に再確認する一年となりました。

これらの活動を通じて、大和市の豊かな自然や市民の環境意識の高さに改めて触れることができました。

これからの時代、環境に配慮することは形式的な行動にとどまらず、地域の暮らしを守る力ともなります。「やまとの環境をよくする会」では、こうした視点も大切にしながら、“やさしい環境、つよい地域”をテーマに、これからも地域に寄り添った活動を続けてまいります。

引き続き、環境にやさしい取り組みを着実に推進し、地域の皆様とともに学び合い、支え合いながら、より良い環境の実現を目指してまいります。

今後とも、「やまとの環境をよくする会」へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(東京電力パワーグリッド株式会社 相模原支社)

# 令和6年度 活動状況

令和6年度に「やまとの環境をよくする会」が行った活動は以下の通りです。

## 1. 令和6年度総会

と き：令和6年4月24日（水）

場 所：大和市文化創造拠点シリウス 生涯学習センター

参加者：出席10事業所、委任状13事業所、来賓2名、賛助会員1名

議 題：（1）令和5年度 事業報告  
（2）令和5年度 収入支出決算報告  
（3）令和5年度 監査報告  
（4）令和6年度 事業計画（案）  
（5）令和6年度 収入支出予算（案）  
（6）令和6年度 役員・委員報告  
（7）環境審議会委員の推薦（案）

## 2. 第1回役員会

と き：令和6年5月8日（水）

場 所：大和市役所会議棟 2階203会議室

参加者：10名（会員6名、事務局2名、生活環境保全課2名）

議 題：（1）生活環境保全課との共同事業について  
（2）令和6年度事業計画について  
（3）令和6年度広報計画について  
（4）みどりのカーテン設置について

## 3. 大和市民まつり

と き：令和6年5月11日（土）、12日（日）

場 所：引地台公園

参加者：8名（会員5名、事務局2名、みどり公園課1名）

内 容：（1）本会の活動を紹介するパネルを展示  
（2）アンケートの実施  
（3）募金活動（大和市みどり基金へ寄附19,219円）

4. みどり育成事業

と き：令和6年5月29日（水）・30日（木）

場 所：アートチャイルドケア大和くれよん保育園  
大和はないろ保育園、アスク鶴間保育園

参加者：8名（会員6名、事務局2名）

内 容：市内の保育園にみどりのカーテンを設置

5. 夏休み親子環境教室

と き：令和6年8月7日（水）

場 所：宮ヶ瀬ダム・水とエネルギー館、中津川

参加者：53名（親子44名、会員4名、事務局2名、生活環境保全課  
3名）

議 題：施設見学・水生生物調査

6. 第2回役員会

と き：令和6年9月4日（水）

場 所：大和市グリーンアップセンター 研修室

参加者：10名（会員7名、事務局3名）

内 容：（1）緑地保全事業について  
（2）やまと産業フェア2024について  
（3）令和6年度環境問題（視察）研修会について

7. 河川美化活動

と き：令和6年9月4日（水）

場 所：ふれあいの森 引地川

参加者：10名（会員8名、事務局2名）

内 容：川の清掃活動

## 8. 緑地保全事業

と き：令和6年10月16日（水）

場 所：大和市泉の森

参加者：13名（会員11名、事務局2名）

内 容：泉の森内の池の周りの清掃活動

## 9. やまと産業フェア2024への出展

と き：令和6年11月19日（土）、10日（日）

場 所：中央1号公園

参加者：15名（会員11名、事務局3名、みどり公園課1名）

内 容：（1）本会の活動を紹介するパネルを展示

（2）ゲームの実施

（3）募金活動（大和市みどり基金へ寄附20,855円）

## 10. 環境問題（視察）研修会

と き：令和6年11月29日（金）

場 所：東京都北区飛鳥山公園

参加者：8名（会員6名、事務局2名）

内 容：渋沢史料館・紙の博物館・北区飛鳥山博物館の見学

## 11. 第3回役員会

と き：令和7年1月22日（水）

場 所：大和市役所 第1分庁舎

参加者：10名（会員7名、事務局3名）

議 題：（1）令和6年度環境保全講習会について

（2）令和7年度事業計画（案）について

（3）令和7・8年度新役員（案）について

（4）令和7年度総会（案）について

（5）令和7年度役員会（案）について

#### 1 2. 環境保全講習会

と き：令和7年2月7日（金）

場 所：大和市渋谷学習センター

参加者：26名（一般企業11名、会員13名、市民参加2名）

事務局2名、生活環境保全課5名

内 容：（1）土壌汚染対策法の概要や土壌汚染の未然防止・対策のポイント

（2）脱炭素社会の実現と県の実践について

#### 1 3. 第4回役員会

と き：令和7年2月18日（火）

場 所：大和市役所会議室棟 203

参加者：10名（会員7名、事務局3名）

議 題：（1）令和7年度泉と緑の記事分担について

（2）令和7年度総会での役割分担について

（3）令和7年度やまと市民まつり支出について



## 第47回大和市民まつり





## 第47回大和市民まつりに参加して

図南鍛工株式会社  
須崎 忠博

開催日時：令和6年5月①11日(土) 10時～16時  
②12日(日) 10時～16時

開催場所：引地台公園

参加者：①11日 会員事業所（日本飛行機㈱ ・図南鍛工㈱）  
市役所職員 2名  
②12日 会員事業所（㈲泰成緑地建設 ・㈱サン）  
市役所職員 2名

やまとの環境をよくする会として初めて「大和市民まつり」に出店参加しました。目的は会員事業所の環境活動の紹介、みどり基金への募金活動がテーマです。

沢山の参加ブースが出ていたり、屋外ステージでは、ひっきりなしに催しがあったりで大変にぎやかな祭りとなっていました。

我々のテント及び店構えは、毎年参加している産業フェアと一緒に慣れたものでした。アンケートの回答者には啓発グッズ1個をプレゼントしましたが、子供達の嗜好とこちらの思っているグッズとの乖離があり、早く出ていくだろうと予想したものが残り気味だったり、あまり人気がないであろうと話し合っていたものが、あっという間になくなったりとおじさんの感覚より子供に相談するのが良い結果となることが分かりました。

やま環の周知を兼ねたアンケート用紙もコントロールして配布したのですが、参加してくださる人が多くて午前中で配布し終わってしまいました。そうした中、会員会社の油化産業㈱さんが会社内で育てたひまわりの種を提供してくださり、参加していただいた人たちに配ったところ非常に喜んでいただきました。当会のイメージを高めるのに役立ちました。ありがとうございました。



# みどり育成事業

日 時：令和6年5月29日（水）30日（木）

場 所：アートチャイルドくれよん大和保育園  
大和はないろ保育園  
アスク鶴間保育園

参加者：8名（会員6名、事務局2名）



# みどり育成事業実施報告

株式会社アート1

武田 貴志



みどり育成事業における緑化啓発活動の一環として、令和6年5月29・30日の二日間で市内三ヶ所の保育園に、みどりのカーテン(ゴーヤ)の設置を行ないました。

参加事業所は、岡野電線(株)様・日本飛行機(株)様・図南鍛工(株)様・三機工業(株)様・東京電力パワーグリッド(株)様・(株)アート1及び事務局の方々です。

前日までは天気も悪く当日の天気も心配されましたが、晴れ間ものぞくお天気で作業を行なう事ができました。

作業としては、カーテンとなるネットを作成し窓を覆うように取り付けます。そして、土と肥料を敷いてゴーヤの苗を植えたプランターを、適度な位置に置いたら完成です。

ゴーヤは生長が早く園芸初心者でも育てやすい植物で、根が広がれば広がるほどツルを伸ばして幅広く育っていくそうです。そのため窓を覆うようにグリーンカーテンをつくる事で窓から入ってくる日差しの熱を抑えることができ、部屋の中を涼しく保ってくれます。

また、実ったゴーヤはさまざまな料理にも使え、家庭菜園を楽しみながら節電対策もできる一石二鳥な植物だそうです。

園児達が緑にふれあう機会が増え、省エネルギー対策にもなる本事業が、次年度以降もたくさんの園から応募があると大変うれしく思います。



# 夏休み親子環境教室



## 夏休み親子環境教室

東京ガス株式会社  
神奈川西支店  
浪瀬 洋一

日時：令和6年8月7日(水) 場所：宮ヶ瀬ダム・中津川



「河川での水生生物調査やダムの放流見学、水資源に関する体験型の学習施設の見学を通じて環境保全の大切さを学びます」という目的で、8月7日(水) 夏休み親子環境教室が開催されました。大和市内の親子22組44名の皆さまと、やまとの環境をよくする会4名、市職員5名、計9名のスタッフを合わせ、総勢53名でバスと車に分乗し、現地に向かいました。最初の目的地は宮ヶ瀬ダムです。

宮ヶ瀬ダムでは、ダムからの放流を鑑賞することができる「観光放流」を定期的に実施しています。通常、ダムからの放流は地下の発電機を経由して流れるため、外から見ることはできないのですが、観光放流ではダムの高いところの放流口から放出されるので、大迫力の水の流れをたっぷり堪能できます。ダムの下から実際に見上げていると、水が出て来た・・・と思ったら、数秒で爆発するように勢いよく溢れ出て来ました。(ちなみに、観光放流の水は同ダム下流の石小屋ダムに貯められるので、水を無駄にはしていないということです)

放流見学の次は、管理事務所のホールで「宮ヶ瀬ダム」の概要について説明員の方からレクチャーを受けました。宮ヶ瀬ダムは平成13年に完成した首都圏で最大級のダムだそうです。(総貯水量は東京ドームを器として換算すると、約160杯に相当するとのこと) その主な役割は、「大雨の際に洪水を防ぐ」、「かけがえない水道水を貯める」、更に「二酸化炭素を発生することなく家庭用で約2万戸分の電気を作る」等、私たちの快適で安全な暮らしに大きく役立っています。ただしその裏には、ダムの建設に伴い移転を余儀なくされた、多くの住民の方々のご理解とご協力があったからこそ・・・そしてダムの建設によって多くの土地と、多くの家が水没したという事実も知っておいて欲しいとの話もありました。

さて、レクチャーが終わると、丁度ランチタイムでしたので、食堂で名物の「宮ヶ瀬ダム放流カレー」をいただきました。お味は・・・程よくスパイシーでとても美味しかったです。（気になる方は、ググってみてください）

午前中の部が終了すると、午後は宮ヶ瀬ダム下流の中津川まで移動して、水生生物の調査・観察です。川の流れは、水が透き通っていて底が見えるくらいきれいです。一見すると何もいないように見えますが、ちょっと石をどけると小さな水中昆虫が住んでいます。網ですくい上げてトレイに移し観察しました。トビケラやカゲロウの幼虫等、比較的水質の良い環境で生息する生き物が多く見られました。

今回の夏休み親子環境教室にご参加いただいた皆さまからは、

- ・ダムの放流は初めて見たが、迫力が凄く、とても感動しました。
- ・水とエネルギーについての説明が大変ためになり、夏休みの自由研究にも役立ちそうです。
- ・小さいものが多かったけど、水生生物をたくさん見つけられて楽しかった。
- ・親子で参加させていただき、体験を通じて楽しく学べる良い機会になりました。

等々意見や感想をいただきました。

私自身も、小さな気付きや知らないことを知る、良い機会だったと感じております。ご参加いただいた親子の皆さまも、身近な河川の生き物や環境保全の大切さに改めて気づき、自然の素晴らしさに目を向けるきっかけとなったのであれば嬉しく思います。





# 河川美化活動





## 「河川美化活動」に参加して

極東開発工業株式会社  
坂本 哲也



2024年9月4日(水)、泉の森から流れる引地川の河川美化活動を行いました。今回、地域の河川美化活動に参加しました。普段は何気なく見ている川ですが、実際に清掃活動をしてみると、新たな発見がたくさんありました。

まず、意外だったのは、ゴミが比較的少なかったことです。事前にもっと多くのゴミがあると思っていましたが、すでに定期的な清掃活動が行われているためか、大きなゴミはあまり見つかりませんでした。その代わり、水の中ではコイがゆったりと泳いでいて、自然の豊かさを感じる場面もありました。一方で、活動を進める中でいくつかの課題もありました。その一つが、参加者数に対して胴長の数が不足していたことです。川の中に入れる人が限られてしまい、少しもどかしさを感じました。次回は事前に装備を確認し、必要であればレンタルするなどの準備をすると、より効率的に作業が進められると思いました。

また、今回の活動では、ゴミ拾いだけでなく、外来種の「ワルスナビ」の駆除作業も行いました。この植物は繁殖力が強く、河川の生態系に悪影響を与えるそうです。しかし、茎や葉にはとげがあり、素手で触ると痛く、抜くのにとっても苦労しました。それでも、みんなで協力して少しずつ取り除き、川の環境を守ることができたことに達成感を感じました。活動を終えた後、きれいになった川を見て、環境を守ることの大切さを改めて実感しました。今後もこうした活動に積極的に参加し、地域の自然を大切にしていきたいと思いました。

最後になりましたが、大和市役所みどり公園課の皆様、参加された役員の皆様、誠にお疲れ様でした。

# 緑地保全事業



## 「緑地保全事業」に参加して

東京電力パワーグリッド株式会社  
相模原支社  
服部 健太郎



10月16日（水）やまとの環境をよくする会による「緑地保全事業」が開催されました。朝は過ごしやすい気候で、みどり公園課の職員たち、そして会員11名が現地に集合しました。

最初のミッションは「自然観察センター・しらかしのいえ」職員のご指導のもと、カブトムシの幼虫を採集することです。職員の方が「ここを掘ってみてください」と経験に基づいて場所を指示してくださいます。我々は「本当にいるのかな？」と半信半疑でスコップを手に掘り始めましたが、すぐに「いた！」という声があがり、次々と幼虫が見つかりました。みんなで協力しながら。1時間ほどで33匹もの幼虫を集めることができました。

幼虫を見つけるたびに歓声があがり、自然の豊かさを実感するひとときとなりました。

続いて「泉の森」へ移動し公園内の美化活動に取り組みました。うっそうと茂る草木を前に、会員の皆さんは「これはやりがいがあるね」と声を掛け合いながら作業を開始。作業が進むにつれて体も温まり、皆さん次々と上着を脱いで、動きやすい格好で黙々と草を刈り、枝を集めていきます。

事務局のお二方と13名で力を合わせて作業した結果、1時間ほどで川の周辺はすっかりきれいになりました。作業中、散歩中の地域の方々が「お疲れさまです」と声をかけてくださり、参加者も「ありがとうございます」と笑顔で応えていました。

自分のためだけでなく、地域のために汗を流すことの心地よさを感じました。

作業後は再び「しらかしのいえ」に戻り、採集したカブトムシの幼虫を丁寧に仕分けしました。これは、産業まつりで子供たちに配布するため、会員がそれぞれ職場に持ち帰り責任をもって育てるためです。

幼虫を手にした会員の方々の想いは一つ。「元気に育って、産業フェアで子供達に喜んでももらいたいということです。

幼虫の採集は、会員のみinnで会議を重ね、自ら企画・実行したものです。自然環境の保全のため、地域の子供たちの笑顔のために力を合わせて取り組む姿がとても印象的でした。幼虫たちが立派なカブトムシに成長し、産業フェアで多くの子供たちに喜んでももらえることを心から願っています。

また、これからも会員一人ひとりの想いが地域の未来に繋がっていくことを切に願っています。

以上





# やまと産業フェア2024



# やまとの環境をよくする会

## やまと産業フェア2024参加報告

油化産業株式会社  
三田 幸英



事前の天気予報とは違い、秋らしい気候に落ち着いてきた11月9日・10日の両日に、大和商工会議所が主催の「やまと産業フェア」が盛大に開催されました。

産業PRと振興の為、大和市内の企業・団体が一堂に会し特産品販売の出店やステージイベントなど、多くの人で賑わっていました。

やまとの環境をよくする会は、河川美化や緑地保全事業の活動内容をパネル展示し、ミニゲームや環境保全の募金（クジ引き付）を通じて市民の皆様への環境保全の啓蒙と新規会員募集を行いました。

ミニゲームは事務局で準備していただいた「ヤマトンへのお届け物」で「どんぐり」「松ぼっくり」「落葉」の三つを投げて箱に入れるものでしたが、フリスビー型の「落葉」はなかなか難易度が高く、当日集まった会員企業のお試しゲームでも苦戦をしていました。



10時前から段々と人が増え始め、小さなお子様からお父さんまで幅広い年代の方に挑戦していただき、三つ全て箱に投げ入れる年輩の方や箱に入るまで再チャレンジする少年、御家族連れのお父さんは少し遠い箱だけを狙って頂くなど大いに盛り上がりました。特にお子様が投げる際はそっと目の前に箱を差し出す優しさと、箱に入ったときに褒めちぎるS氏の存在が大きかったと申し添えます。

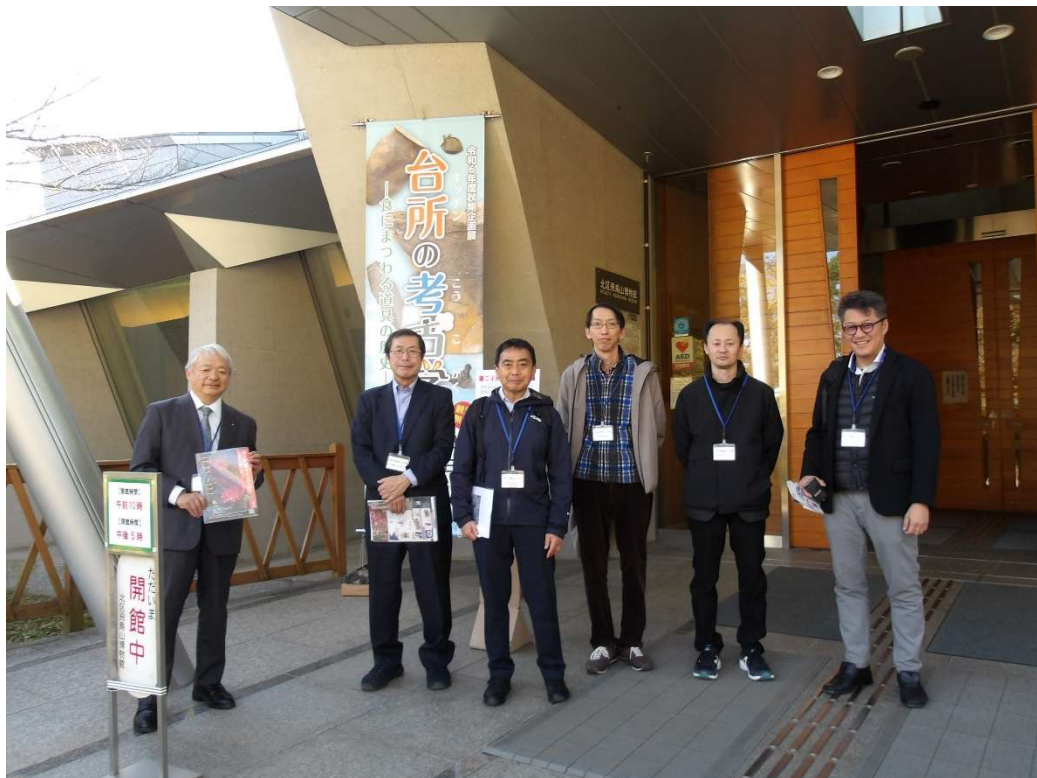
午後 3 時 3 0 までの開催時間を待たずに、準備していたミニゲームの参加賞やクジの景品も無くなってしまい終了となりました。ミニゲームに参加いただいた方からは公園の花壇をもっと華やかにしてほしい、河川の遊歩道にゴミが多く困っている等のお話しもあり、環境問題意識を市民の皆様も感じていると改めて感じる事が出来ました。

末筆ながら開催準備に御尽力頂きました事務局の皆様、参加された会員企業の皆様、御協力ありがとうございました。





# 環境問題（視察）研修会



## 「環境問題（視察）研修会」に参加して

三機工業株式会社 三機テクノセンター  
西川 喜紀

令和6年11月29日（金）



秋も深まった感のある11月末、環境問題（視察）研修会に行きまして。天候は抜けるような晴天で気温は高からず低からず研修会には絶好のコンディションでした。朝8時30分、大和市役所本庁舎東側駐車場に集合、今回は6会員（事業所）が参加しました。視察場所は、新一万円札に肖像が採用された渋沢栄一ゆかりの飛鳥山3つの博物館、マイクロバスに乗車し、出発です。車内でそれぞれが簡単に自己紹介をおこないました。

多少渋滞の影響もあり、予定の10時を少し回ったころ3つの博物館のある北区立飛鳥山公園に到着しました。飛鳥山3つの博物館とは、①紙の博物館・②北区飛鳥山博物館・③渋沢史料館で、その3館共通券を購入し、最初はその3館とは別の晩香蘆（ばんこうろ）と青淵文庫（せいえんぶんこ）を見学しました。両者は渋沢翁がかつて暮らした邸宅跡地にあり、国の重要文化財にも指定されています。民間外交の場として米大統領グラントや中華民国総統蒋介石らが招かれたそうです。歴史の重みを感じられる場所でした。

11時には園内のレストランで少し早めの昼食をいただきました。私はオムライスで、デミグラスソースの美味しいものでした。チキンライスに混ざっていたシャキシャキとした歯応えのある食材が何か分からなかったのですが、それはレンコンだろうと教えていただき納得いたしました。



その後集合時刻まで自由時間となり、私は③渋沢史料館を見学しました。渋沢栄一は1840年生まれで1931年没、91歳の長寿の方です。その91年間の歴史的出来事と彼の生涯が1年毎に展示されており、大変興味深いものがありました。集合時刻まではまだ時間があつたので、飛鳥山公園内を散策しました。

同公園は江戸時代、八代将軍徳川吉宗が江戸っ子の行楽地とするため、桜の名所として整備されたものです。北の端はJR王子駅に近く、そこに設置されているのが「あすかパークレール」、公園入り口駅と山頂駅を片道2分で結ぶ自走式モノレールです。無料で10人ほどが乗れる乗物ですが、かたつむりを象ったその名前が「あすかるご」、命名の秀逸さに感動しました。公園中ほどの多目的広場にはD51型蒸気機関車SLの展示もあり、また12月1日までの期間は秋の紅葉ライトアップもおこなわれており、残念ながらその時刻までは滞在できませんでしたが、なかなか見どころ盛りだくさんです。



集合後は②北区飛鳥山博物館を見学しました。ここでは、学芸員の方の解説とともに見学コースを回りました。飛鳥山公園は関東ローム層上の台地の端部にあり、北東部は崖になっていて、その先は広い低地が広がっているこの辺りでは、

- ・小学校の歴史で最初に教わる貝塚の大きなものが発見されている
- ・その貝塚とは異なり牡蠣の貝殻のみの層で海底が隆起してできたと思われる場所もある
- ・水運と陸運の交差する交通の要衝としての位置付けもある

・放水路が整備される前の荒川は文字通り荒れる川で、洪水時に使用される小型の舟が各家庭にあった、など興味深い解説をたくさん聴くことができました。

当会のテーマである環境を考えるうえでも、諸条件を考慮にいれなければならない、ということを考えさせられました。

その後出発時刻まで再び自由時間となったので、私は3館コンプリートを目指し、①紙の博物館に行きました。現存最古の印刷物「陀羅尼」や木版画「孔雀明王像」、産業遺産コレクションとしてパルプを作る「ボロ蒸蒸釜」、世界最初の抄紙機模型、明治創業の京都府営製紙工場のパピールファブリック門扉

などが展示されていました。全体として紙の歴史や再利用に対する取り組みを学ぶことができました。

14時30分に再集合し、大和市に向け出発です。16時少し前には市役所に帰還しました。

新一万円札の肖像に採用された渋沢栄一は、現代に繋がる500以上の企業・団体を設立・育成し、日本の近代化に大きく貢献した人物です。著書「論語と算盤」はその代表作で、今もなお多くの経営者・起業家に読み継がれています。そこには「持続可能な環境共創都市の実現」や「地域循環共生社会の実現」に繋がる彼のメッセージを読み取ることができます。今回の環境問題（視察）研修会ではその一端に触れることができ、大変興味深くまた意義深いものとなりました。

以上





# 環境保全講習会



## 環境保全講習会に参加して

日本飛行機株式会社  
齋藤 浩



令和7年2月7日（金）、令和6年度環境保全講習会が高座渋谷駅前の「IKOZA」ビルの「大和市渋谷学習センター」201多目的ホールで開催されました。

この講習会は、大和市及び『やまとの環境をよくする会』の主催で、工場・事業所における環境保全意識の普及および啓発を図ることを目的として行われています。

講演では、先ず東京電力パワーグリッド㈱の服部様の司会進行で開会にあたっての挨拶がありました。続いて大和市生活環境保全課長の増山様から、今講演会は昭和62年から始まっており、今後も環境の普及と啓発で講演会を継続していきたいと挨拶がありました。

最初の講演は、サステナビリティ戦略コンサルタントの巢山様より「土壤汚染対策法の概要や土壤汚染の未然防止・対策のポイント」です。土壤汚染対策法の法改正の内容、土壤調査の必要性は把握できましたが、企業がどのような対応をしたらよいか等の具体例を教えてほしいと思いました。

続いて、神奈川県産業振興センターのカーボンニュートラル支援アドバイザーの渡邊様と神奈川県環境農政局脱炭素戦略本部室 事業者脱炭素グループの秋山様より「脱炭素社会の実現と県の取り組み」のお話がありました。具体的な参考例があり、コストと経済効果、補助金等のお話でとても参考になりました。

2つの講演に続いて、

『やまとの環境をよくする会』の事業委員長の三機工業㈱三機テクノセンターの西川様より会の紹介があり、大和市での環境保全活動の内容と会員募集案内をしました。



今回の講習会に参加して、企業の法順守や環境保全に対する対策の重要性を改めて認識し、社会の一員として各企業が省エネや環境保全をさらに推進していき、自然保護や未来の子供たちの生活を守っていくことが責務と感じました。

最後に、今回の講習会にご参加された企業様、市のホームページで興味を持たれた企業様、是非この機会に『やまとの環境をよくする会』にご入会をご検討いただき、私たちと一緒に活動しましょう。

以上





資料

# やまとの環境をよくする会会則

(名称及び事務局)

第1条 本会は、「やまとの環境をよくする会」と称し、事務局を大和市役所内に置く。

(目的)

第2条 本会は、公害の未然防止や工場等の緑化の推進を通じて、快適な環境を創造し、うるおいのあるまちづくりに努め、豊かな自然の保護に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 公害防止技術の調査研究
- (2) 環境保全に係る調査研究
- (3) 環境緑化に係る調査研究
- (4) 研修会、講演会、視察等の実施
- (5) 環境の保全に係る啓発活動
- (6) 関係行政機関との連携及び協力
- (7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(正会員)

第4条 本会は、大和市内にある工場・事業所等で、本会の目的に賛同し、かつ役員会の承認を得たものをもって組織する。

2 正会員は、別表の定めるところにより、会費を負担するものとする。

(賛助会員)

第5条 本会の目的に賛同し、かつ役員会の承認を得たものを賛助会員とすることができる。

(役員)

第6条 本会に、次の役員を置く。

- |         |     |
|---------|-----|
| (1) 会長  | 1名  |
| (2) 副会長 | 3名  |
| (3) 理事  | 若干名 |
| (4) 会計  | 2名  |
| (5) 監事  | 2名  |

(役員を選出)

第7条 本会の会長、副会長、理事、会計及び監事は、総会で会員の中から選出する。

2 役員任期満了前における欠員補充は、会長が役員会の同意を得て、会員の中から必要に応じ選出する。

(役員の仕事)

第8条 会長は、会務を統括し、本会を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時はこれを代行する。
- 3 理事は、会務を執行する。
- 4 会計は、会費の徴収、補助金等の収納及び諸経費の収支等の管理にあたる。
- 5 監事は、会計を監査する。

(役員の任期)

第9条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補充により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 役員は、任期が満了したときにおいても、後任者が就任するまで引き続きその職を行うものとする。

(名誉会長及び顧問)

第10条 本会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

(会議)

第11条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

(総会)

第12条 総会は、正会員をもって構成する。

- 2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長が、これを召集する。
- 3 通常総会は毎年1回、臨時総会は、会長が必要と認めるとき、又は正会員の3分の1以上から請求があったとき、これを開くものとする。
- 4 総会の議長はそのつど選出する。
- 5 総会は、次の事項を議決する。
  - (1) 役員の選出に関する事
  - (2) 事業計画及び事業報告に関する事
  - (3) 予算及び決算に関する事
  - (4) 会則の改廃に関する事
  - (5) その他会長が必要と認める事項

(役員会)

第13条 役員会は、会長、副会長、理事、会計及び監事をもって構成し、会長が召集する。

- 2 役員会の議長は、会長をもってこれにあてる。
- 3 役員会は、この会則の別の条項に定めるもののほか、次の事項を議決する。
  - (1) 総会で議決した事項の執行に関する事
  - (2) 総会に提案すべき事項に関する事
  - (3) 予算の補正に関する事
  - (4) 総会で委任された事項に関する事
  - (5) その他役員会において必要と認める事項

(会議の議決)

第14条 総会及び役員会は、構成員の2分の1以上の出席（委任状を含む）がなければ議事を開き、議決することができない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員会及び部会)

第15条 本会の事業を円滑に進めるため、次の委員会を置く。

- (1) 総務委員会
- (2) 広報委員会
- (3) 事業委員会

2 委員会は役員及び会員の中から選出する委員をもって構成し、委員長は、副会長をもってこれにあてる。

3 委員長は、役員会の同意を得て、特定事業にあたるための部会を設置し、その事業を遂行させることができる。

(経費)

第16条 本会の経費は、次の収入をもってこれにあてる。

- (1) 会費
- (2) 補助金
- (3) その他の収入

(事業年度)

第17条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(委任)

第18条 この会則の施行について必要な事項は、会長が、役員会の議決を経て別に定める。

附 則

この会則は、平成3年5月31日から施行する。

別表（第4、5条関係）

会費算定基準

1 正会員は、次の表に定める資本金額により算出した点数に5,000円を乗じた額を年会費とする。

資本金額	1億円未満	1億円以上 10億円未満	10億円以上
点 数	1	2	3

2 賛助会員は、10,000円を年会費とする。

## やまとの環境をよくする会細則

### (入会)

第1条 本会に入会しようとするものは、所定の入会申込書により申し込むものとする。

### (脱会)

第2条 会員が脱会しようとするときは、所定の申出書により届出るものとする。

### (会費)

第3条 会費は年額とし、毎年4月1日から5月31日までに納入しなければならない。ただし、年度途中においての加入会員は、加入時期に応じ、月割りにより算出し、納入するものとする。  
2 既納の会費はこれを返還しない。

### (負担金)

第4条 会の予算の範囲内で事業を実施できない場合、会長は役員会の同意を得て、参加者に対し参加経費の負担を請求することができる。

### (委員会)

第5条 各委員会の所掌する事業の範囲は、役員会の同意をえて会長がこれを決定する。  
2 委員会は、必要に応じて、委員長が召集する。  
3 委員会の委員は、会員及び賛助会員の中から会長が委嘱し、任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

### (会計)

第6条 本会の会計のうち、予算の流用については、会長の承認を得て行う。

### (報酬)

第7条 本会の役員は、無報酬とする。

### 附 則

この細則は、平成6年10月25日から施行する。

## 令和 6 年度 役員名簿

役員名	事業所名	所在地	電話番号
会 長	東京ガス(株) 神奈川西支店	相模原市南区相模 大野 5-8-18	042-766-3071
副会長(総務担当)	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	相模原市中央区千 代田 6-12-25	042-759-1211
副会長(広報担当)	岡野電線(株)	深見西 1-5-28	261-1140
副会長(事業担当)	三機工業(株) 三機テクノセンター	中央林間 7-10-1	274-4111
会 計	日本飛行機(株)厚木工場	草柳 2-28	265-2022
会 計	油化産業(株)大和工場	柳橋 5-13-13	267-2684
理 事	図南鍛工(株)	柳橋 5-12-30	267-3511
理 事	(株)アート 1	下草柳 822 - 3	264-1311
監 事	(株)酒井化学研究所	柳橋 1-3906-9	263-6764
監 事	極東開発工業(株) 横浜工場	深見西 4-1-62	263-2211



## 令和 6 年度 委員会名簿

### 《総務委員会》 ◎委員長

事業所名	所在地	電話番号
◎東京電力パワーグリッド(株)相模原支社	相模原市中央区千代田 6-12-25	042-759-1211
日本飛行機(株)厚木工場	草柳 2-28	265-2022

### 《広報委員会》 ◎委員長

事業所名	所在地	電話番号
◎岡野電線(株)	深見西 1-5-28	261-1140
油化産業(株)大和工場	柳橋 5-13-13	267-2684
(株)アート 1	下草柳 822 - 3	264-1311

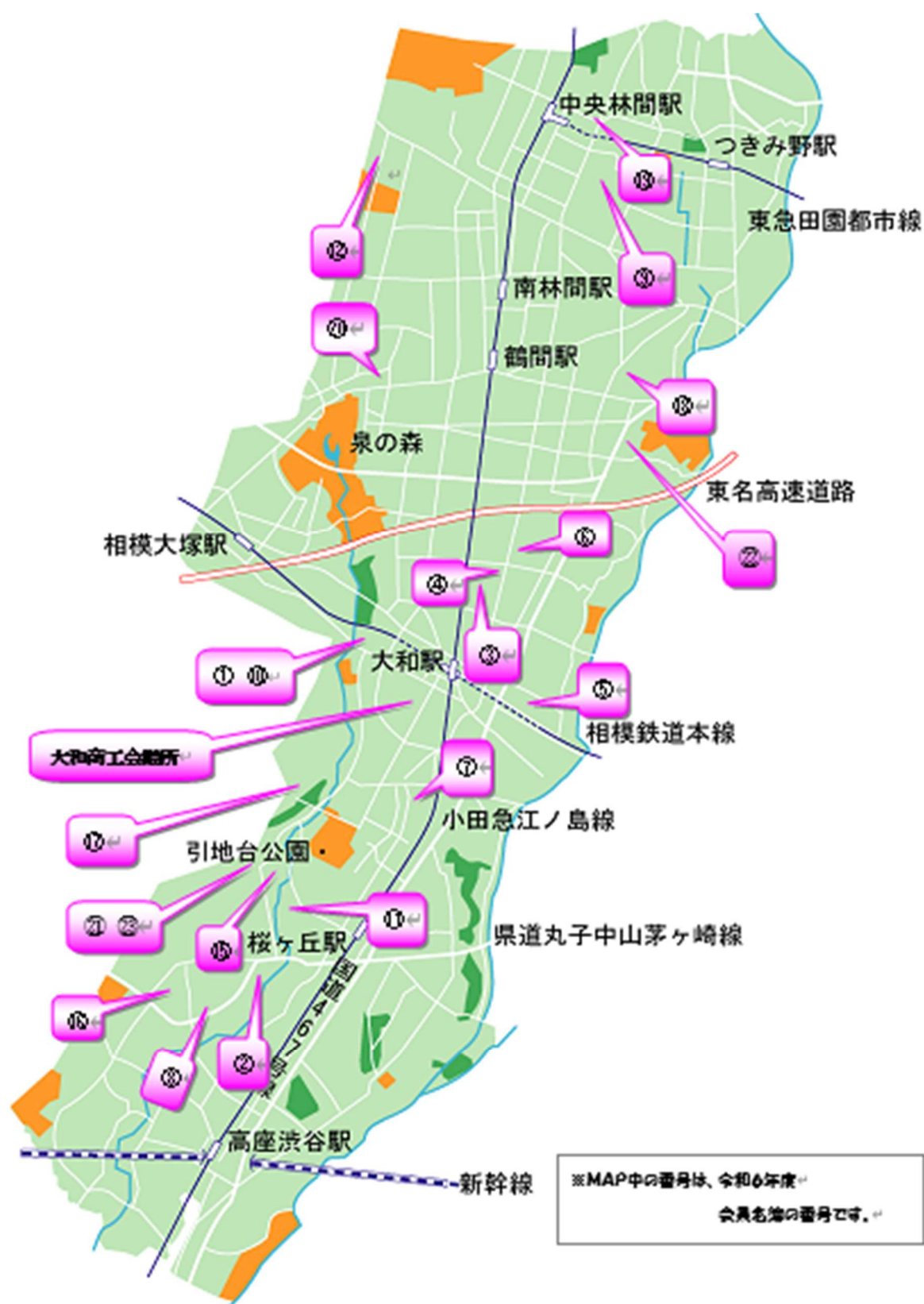
### 《事業委員会》 ◎委員長

事業所名	所在地	電話番号
◎ 三機工業(株)三機テクノセンター	中央林間 7-10-1	274-4111
図南鍛工(株)	柳橋 5-12-30	267-3511
極東開発工業(株) 横浜工場	深見西 4-1-62	263-2211

## 令和 6 年度 会員名簿

番号	事業所名	所在地	電話番号
1	(株)アート 1	下草柳 822-3	046-264-1311
2	イースタン技研(株)	福田 6-9-21	046-269-9911
3	(株)APJ	深見西 1-5-2	046-262-1125
4	岡野電線(株)	深見西 1-5-28	046-261-1140
5	(株)ガスター	深見台 3-4	046-260-3068
6	極東開発工業(株) 横浜工場	深見西 4-1-62	046-263-2211
7	(株)酒井化学研究所	柳橋 1-3906-9	046-263-6764
8	(株)サン	代官 2-6-10	046-201-0807
9	三機工業(株) 三機テクノセンター	中央林間 7-10-1	046-274-4111
10	セイワ電熱(株)	下草柳 822-4	046-261-3107
11	(有)泰成緑地建設	福田 8-15-1	046-269-3578
12	宝化工(株)	中央林間西 3-9-23	046-278-3630
13	東京ガス(株) 神奈川西支店	相模原市南区相模大野 5-8-18	042-766-3071
14	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	相模原市中央区千代田 6-12-25	042-759-1211
15	図南鍛工(株)	柳橋 5-12-30	046-267-3511
16	那賀都工業(株) 大和工場	代官 3-18-13	046-269-3616
17	日本飛行機(株) 厚木工場	草柳 2-28	046-265-2022
18	細野コンクリート(株)	下鶴間 2837-3	046-275-6193
19	(株)水島商事	中央林間 4-16-10	046-274-1515
20	森永エンゼルデザート(株)	西鶴間 6-22-10	046-274-7260
21	大和市リサイクル事業協同組合	柳橋 5-13-9	046-269-9905
22	大和プレス(株)	下鶴間 2752	046-261-4620
23	油化産業(株) 大和工場	柳橋 5-13-13	046-267-2684
賛助会員	大和商工会議所	中央 5-1-4	046-263-9112

## 令和6年度 会員所在 MAP



## 相模原市南区



## 相模原市中央区





# 編集後記

やまとの環境をよくする会の令和6年度の事業報告として「泉と緑」第32号を発行させていただきました。

令和6年度は役員会等を含めると13回の環境保全に関する事業計画どおりに活動を行うことができました。

近年、気候危機とエネルギー危機が深刻な課題となり、環境の悪化がさらなる危機を生み出す悪循環に陥っていく懸念を抱えています。作物や環境変化による生物多様性の損失等の地球環境の悪化は、経済や生活にも大きな影響を与える根本的な要因であり、グローバルな環境問題の解決が急務となっている今、それらの方向性に大きく関係する企業が、脱炭素化やエネルギー利用の効率化、再エネの利用等により、将来世代のために今できることから活動していくことが重要であります。そういう意識を地域企業で共有し力に変えていくために、本会の活動が環境保全に取り組むきっかけとなればと思っています。

今後も本会の活動を推進していく上で、引き続き会員の皆様方の御協力を賜り、更に良い会運営にすべく宜しくお願いいたします。

最後に会の活動を支えて下さっている大和市環境共生部みどり公園課の方に厚く御礼を申し上げます。

(岡野電線株式会社 岡野 利明)

## 広報委員

委員長 岡野電線(株)

岡野 利明

委 員 油化産業(株) 大和工場

三田 幸英

委 員 (株)アート1

武田 貴志

第 32 号

令和7年12月発行

やまとの環境をよくする会

事務局 大和市環境農政部 みどり公園課

電話 046-260-5451

〒242-8601 大和市下鶴間1-1-1